

ACTION



接地性を高める
踵の構造。



ポージングの表情を
豊かにする平手パーツ。

*一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。

REAR VIEW



MARKING

①~④はマーキングシールの記号です。
*マーキングシールはお好みで自由にお貼りください。



RX-77-2 GUNCANNON

E.F.S.F. PROTOTYPE MIDDLE-RANGE SUPPORT MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : RX-77-2
HEAD HEIGHT : 17.5m
WEIGHT : 51.0t
TOTAL WEIGHT : 70.0t
GENERATOR OUTPUT : 1,380kw
THRUSTERS TOTAL PROPULSION : 51,800kg
MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
ARMAMENTS :
BEAM RIFLE
240mm CANNON
60mm VULCAN GUN

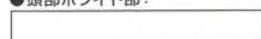
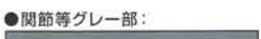
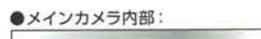


サイド7に運び込まれた3機のガンキャノンのうち、破壊を免れた1機がホワイトベースの艦載機として運用された。本格的な実戦投入は地球降下後のことで、パイロットはカイ・シデンが務めた。特に北米におけるガルマ隊との戦闘では、前衛を担うRX-78-2を後方から支援するという想定に近い運用がなされている。なお、少数だが量産されており、そのうちの1機がジャブロー出港時にホワイトベースに配備されている。2機目のガンキャノンの配備にあたり、カイ機がC-108、ハヤト・コバヤシ機がC-109と呼称された。両機はア・バオア・クー戦においても敵要塞への上陸を果たしているが、要塞内に拠座したホワイトベースの防衛時に大破。同攻略作戦では別働隊がC-203の機体番号を持つガンキャノンを用いていたことが確認されている。

*画像はイメージです。

COLOR GUIDE

*よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
*塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
*カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

<p>●本体レッド部:</p>  <p>シャインレッド (70%) +レッド (30%) +グレー (少量)</p>	<p>●頭部ホワイト部:</p>  <p>ホワイト (100%) +ペールグリーン (少量) +イエロー (極少量)</p>	<p>●胸部等イエロー部:</p>  <p>イエロー (60%) +ホワイト (30%) +オレンジ (10%)</p>
<p>●関節等グレー部:</p>  <p>グレー (75%) +ブラック (25%)</p>	<p>●メインカメラ内部:</p>  <p>シルバー (100%)</p>	

*ここに掲載している情報は2015年6月現在のものです。

1/144 SCALE



GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Any fees incurred by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN *画像の完成品は塗装してあります。

0196715



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

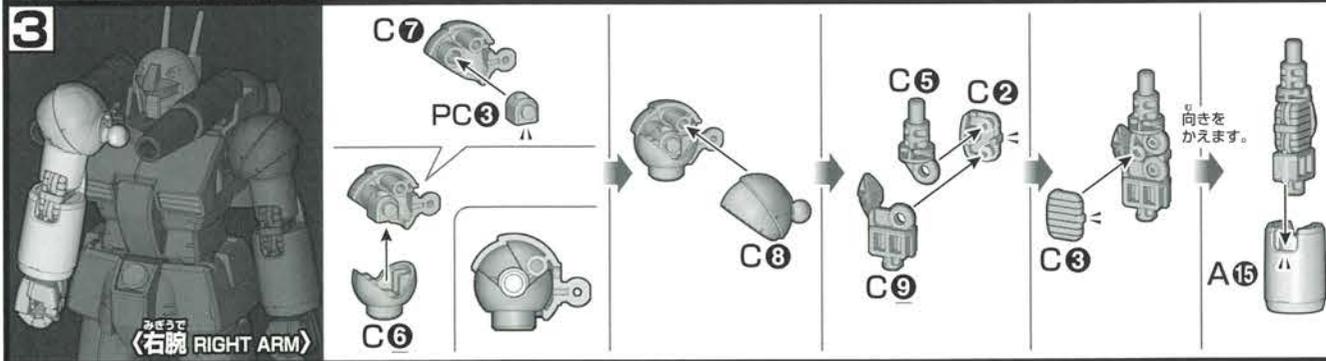
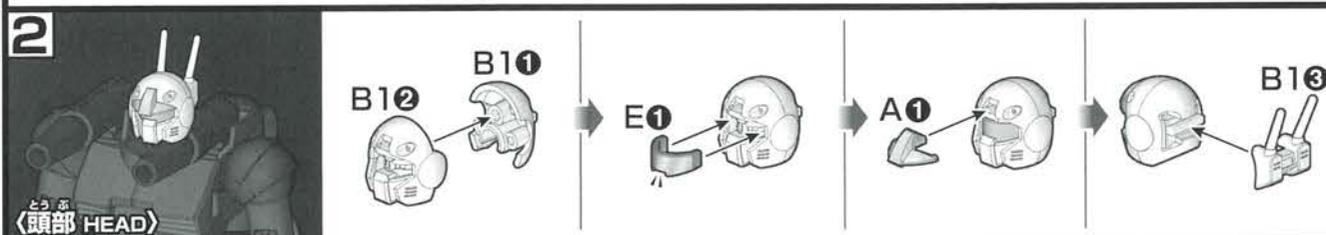
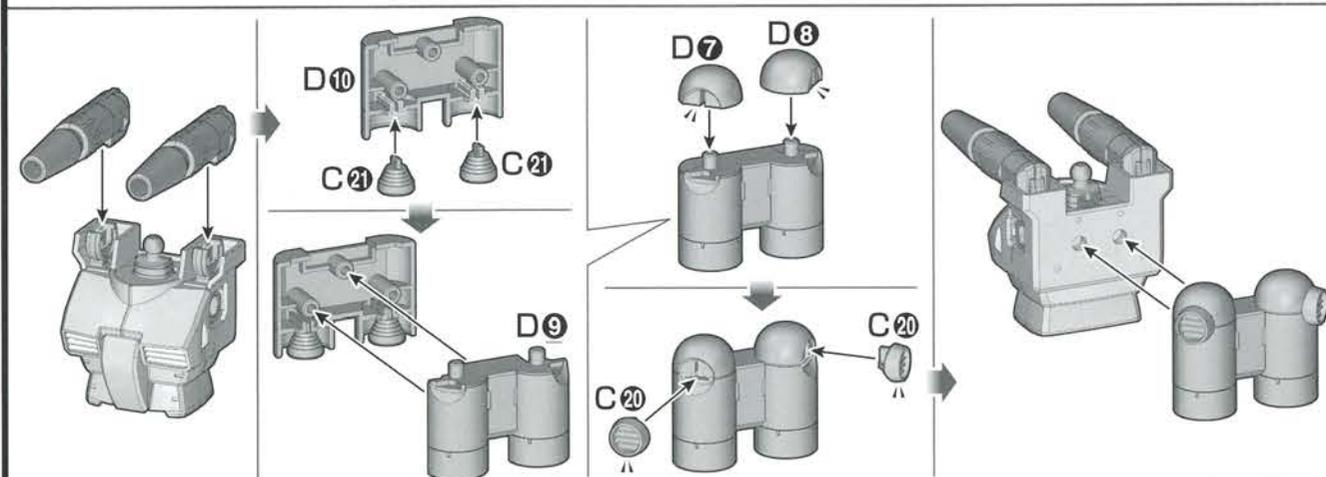
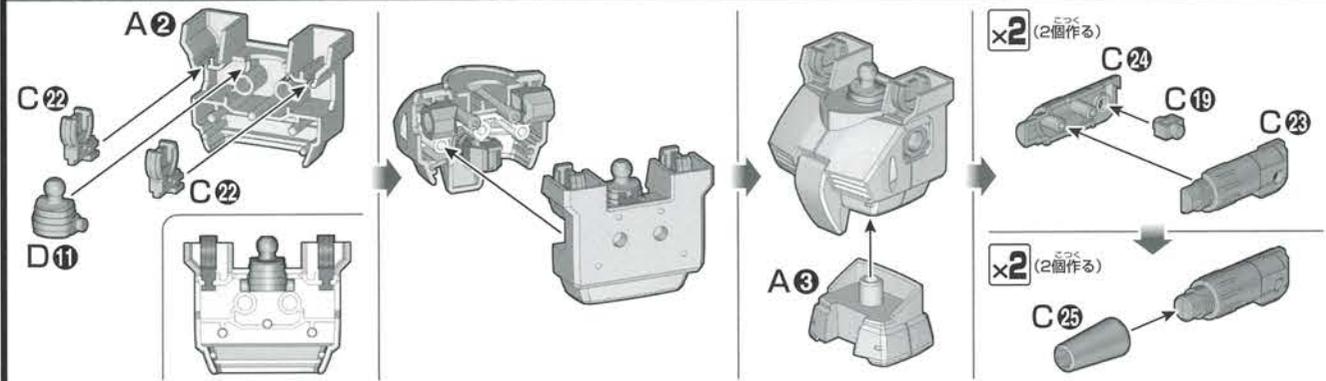
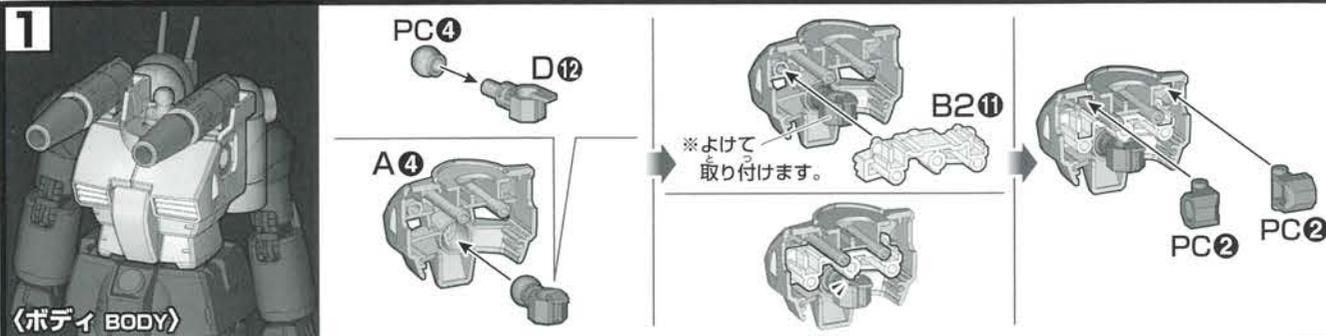
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには充分ご注意ください。

①→②の順番で組み立ててください。
Assemble in the order of the numbers ①→②.

パーツの向きや形状に注意してください。
Confirm the direction and shape of the parts.

※部品の向きや左右など、イラストをよく見て組み立ててください。
Refer to the illustrations and pay attention to parts orientation/direction during assembly.



組み立て中に使用されているマーク
Please check the following marks.



●部品の数値の個数作ります
Assemble multiple sections as indicated.



●反対側も同じように動かします
Move the opposite side as well.

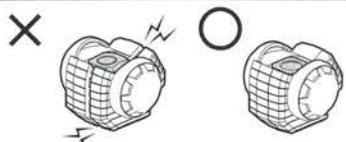


●両側に同じパーツを取り付ける
Use identical part/section for each side.

各部品はニッパーなどで、きれいに切り取りましょう。
Cleanly cut out.



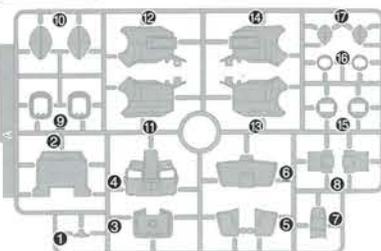
PC部品は軟質素材のため、つぶさないようにしっかりと取り付けましょう。
Do not crush the PC parts and attach carefully.



パーツリスト Parts list

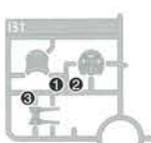
(X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



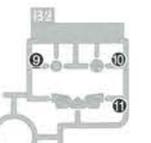
B1パーツ

(スチロール樹脂: PS)

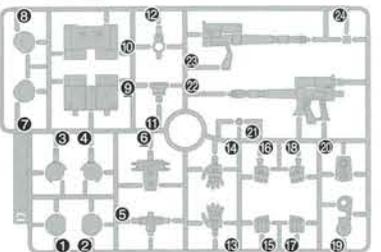


B2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

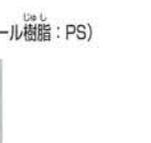


Dパーツ (スチロール樹脂: PS)

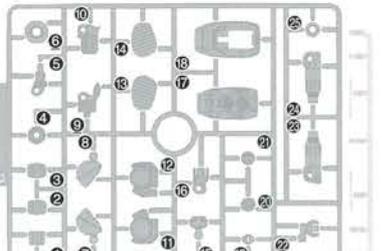


Eパーツ

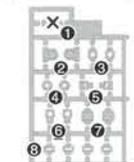
(スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS) (×2)

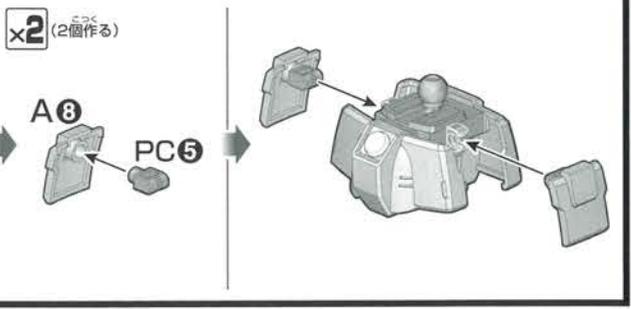
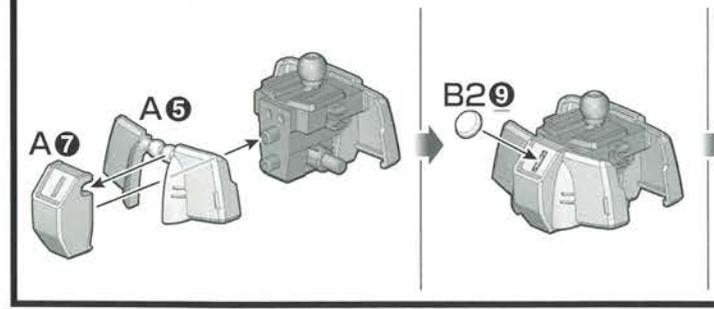
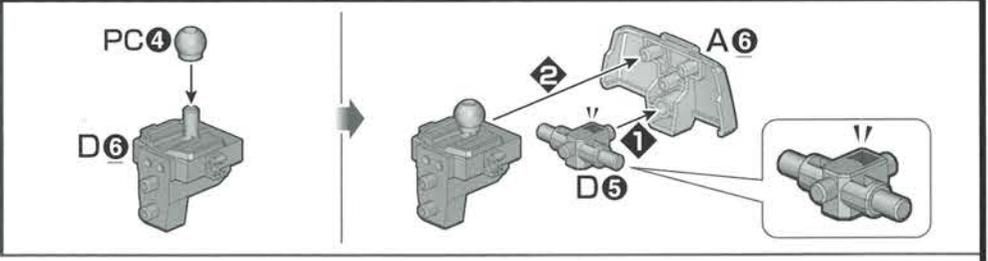
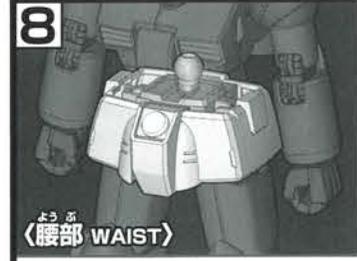
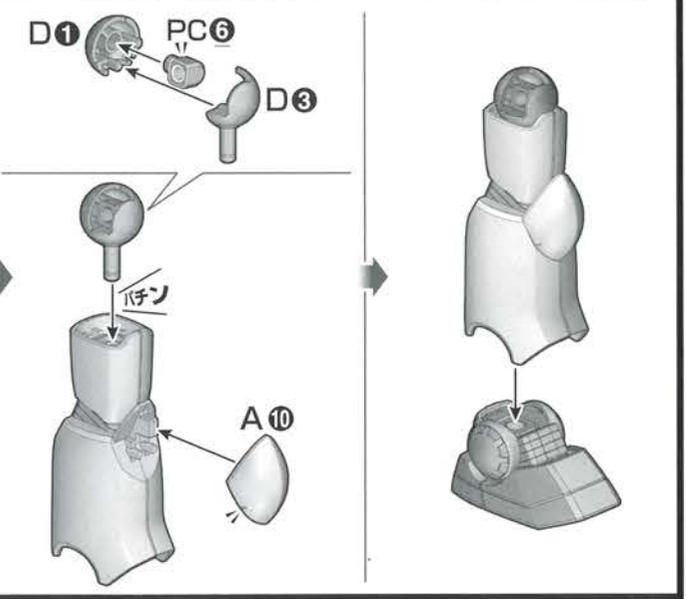
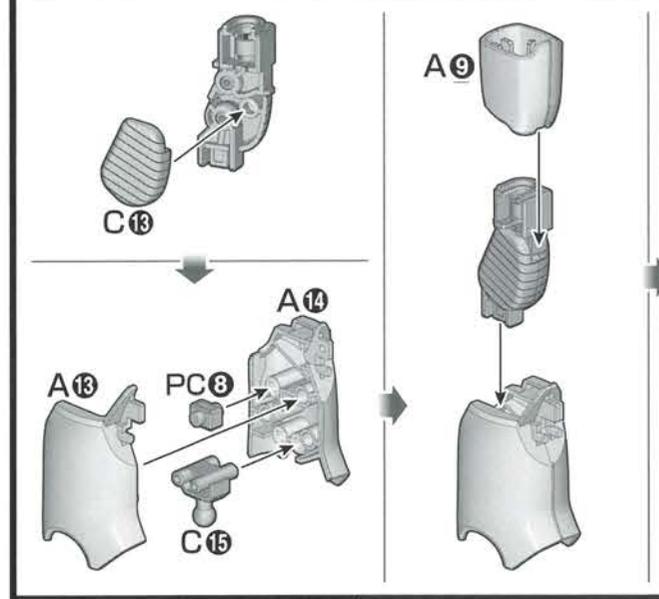
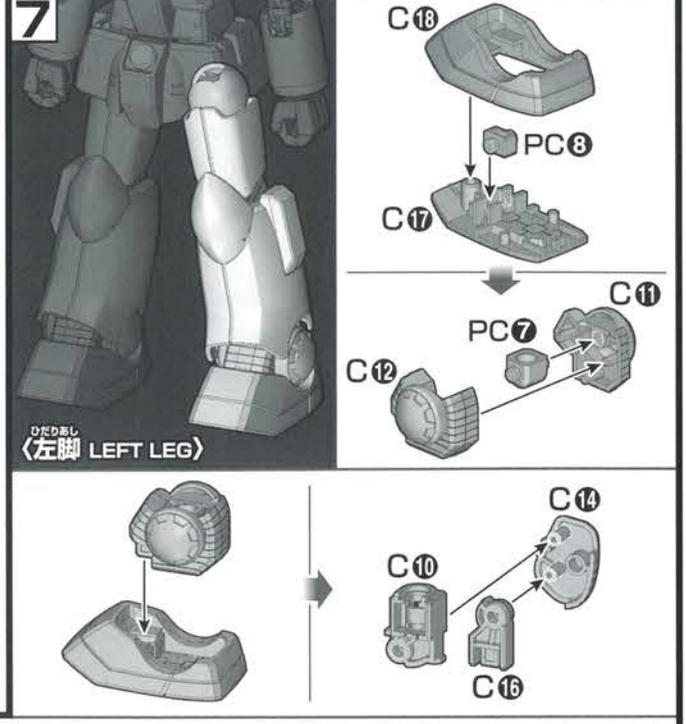
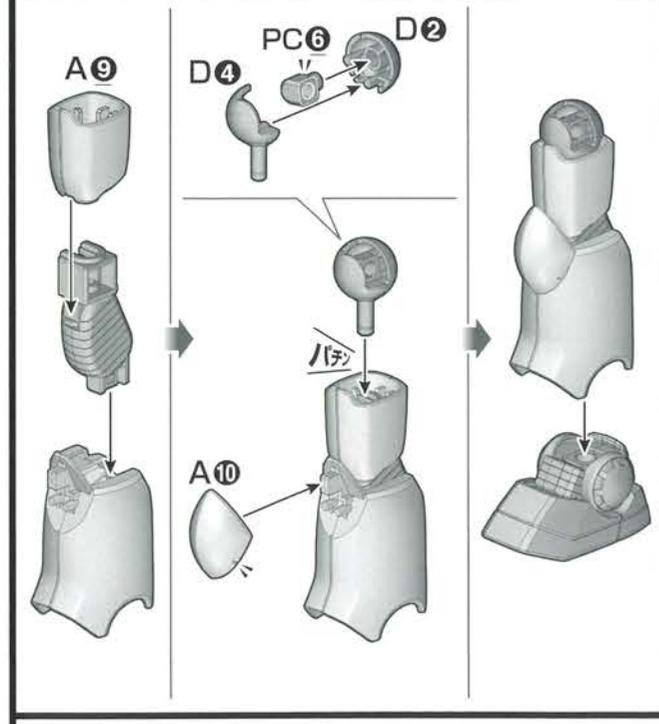
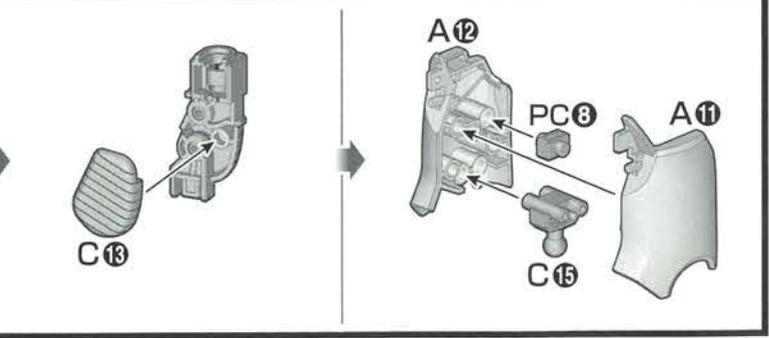
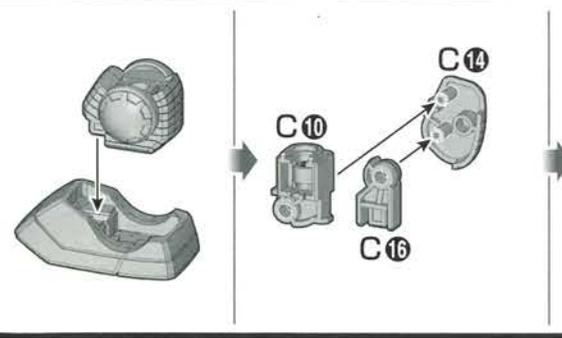
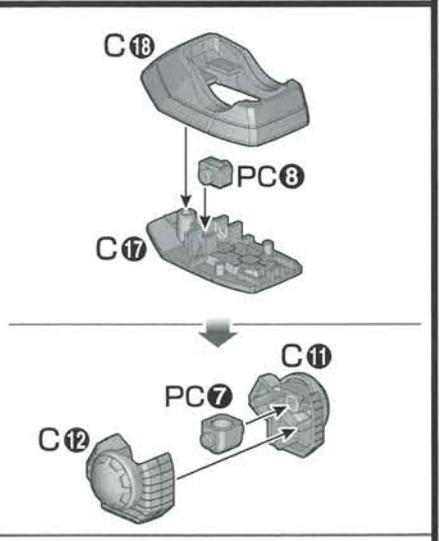
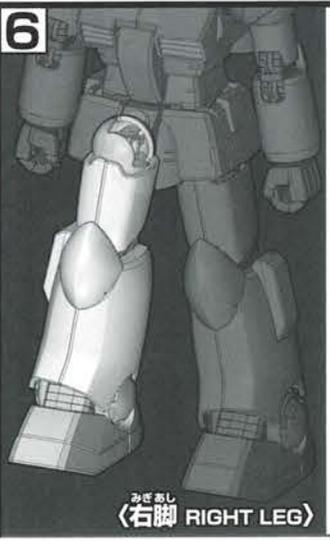
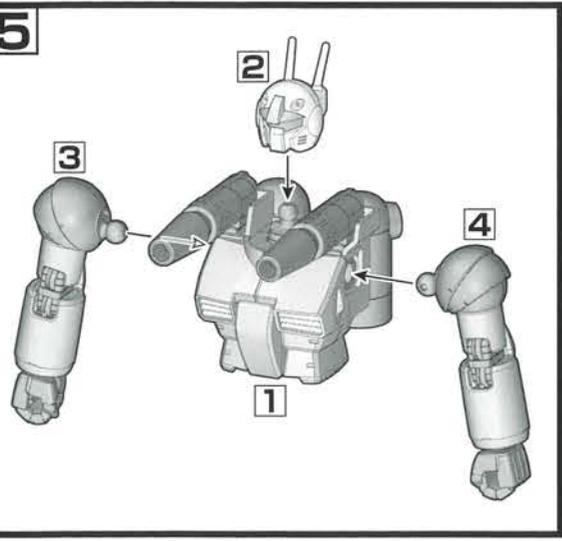
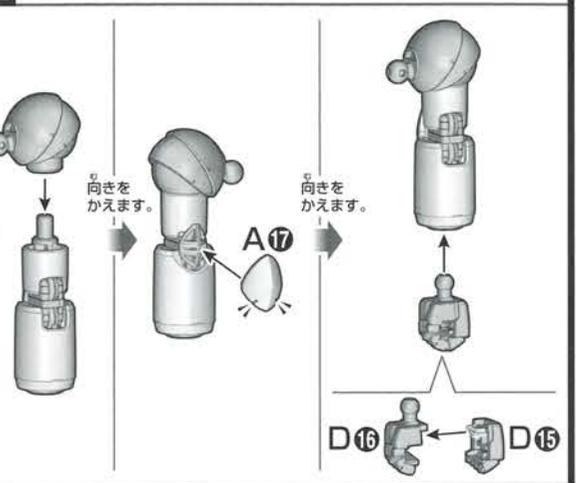
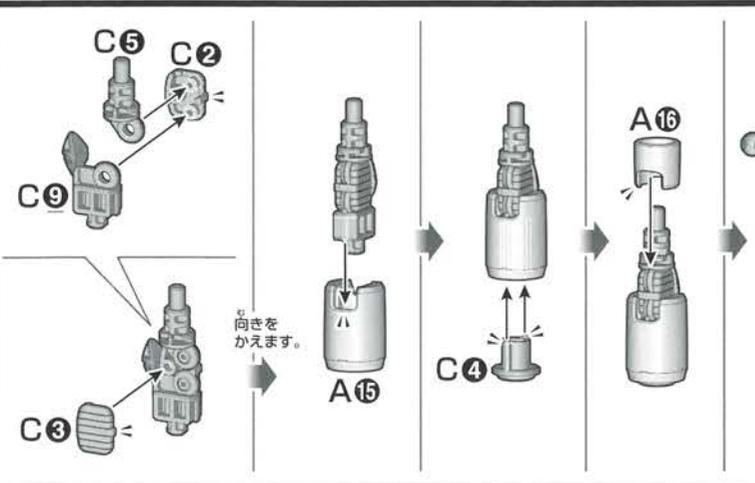
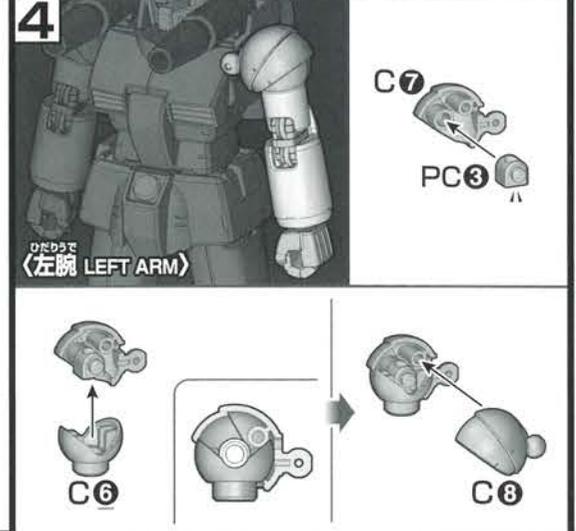
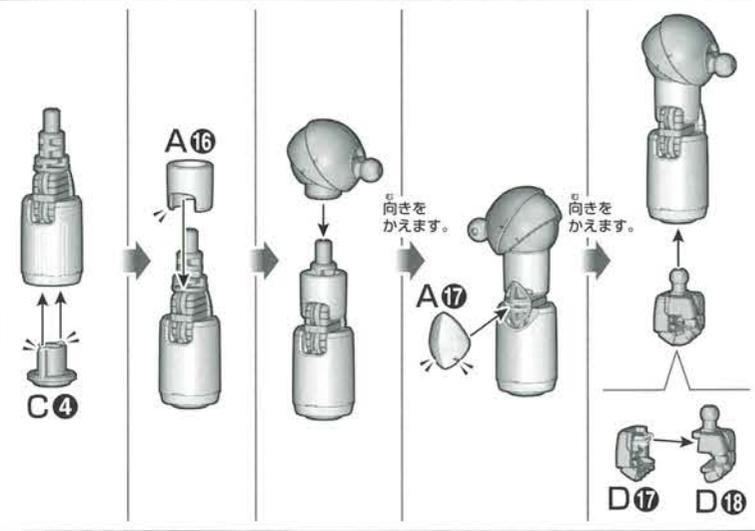


《PC-002》
(ポリエチレン: PE)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

●マーキングシール.....1



RX-77-2 ガンキャノン

地球連邦軍が「V作戦」で開発した試作MS。RX-75 ガンタンク、RX-78-2 ガンダムと同じく「RXシリーズ」の一機種で、中距離からの支援砲撃を主な運用法としていた。支援砲撃という役割から、RX-75 ガンタンクとの戦術用途が重複しているように思えるが、本機は人型をしたMSとしての機能性——脚部を用いた運動性や腕部による携行火器の使用——の面で、より高度な運用柔軟性を発揮した。こうした特性により、本機は肩部に固定兵装を装備した「支援用MS」というジャンルを構築したのである。また、RX-77-2 ガンキャノンは機動性よりも耐弾性が重視されていた。これは中距離帯での砲撃戦を主眼としていたためで、MS-09R リック・ドムのジャイアント・バズの直撃に耐えたことから、その装甲強度の高さが窺える。コクピットは、RXシリーズに共通するコア・ブロック・システムを採用。RX-78-2 ガンダムと同じく、上半身のAパーツと下半身のBパーツで、コア・ファイターを挟み込む方式であった。こうした構造のため胴体部の装甲が脆弱になるという欠点もあったが、積層装甲の採用によって、この問題も解決していた。武装は、両肩の240mm低反動キャノン砲を主兵装とし、ビーム・ライフル、頭部60mmバルカン砲を装備。240mm低反動キャノン砲は、RX-75 ガンタンクの120mmキャノン砲に比べ、大口径かつ単砲身だが、中距離支援という役割においては必要十分な威力を有していた。また、ビーム・ライフルもRX-78-2 ガンダムのもよりも照準精度が高かったと言われている。このようにRX-77-2 ガンキャノンの機体特性は、武装の面からも理解できる。砲撃戦能力とMSとしての運用性、そして高い装甲防御力を有するRX-77-2 ガンキャノンは、支援用MSの雛形として、以降の機体開発に多大な影響を与えたのだ。

ビーム・ライフル

ポウワ社製で、型式番号はXBR-M-79a。ガンキャノン用として開発された。当初はジェネレーター出力の問題から搭載は見合わせていたが、ルナツーでの改修によって使用可能となった。30kmもの射程を有したと言われる。

SPEC

型式番号:RX-77-2
 頭頂高:17.5m
 本体重量:51.0t 全備重量:70.0t
 ジェネレーター出力:1,380kw
 スラスター総推力:51,800kg
 装甲材質:ルナ・チタニウム合金
 武装:ビーム・ライフル
 240mm低反動キャノン砲
 60mmバルカン砲

240mm低反動キャノン砲

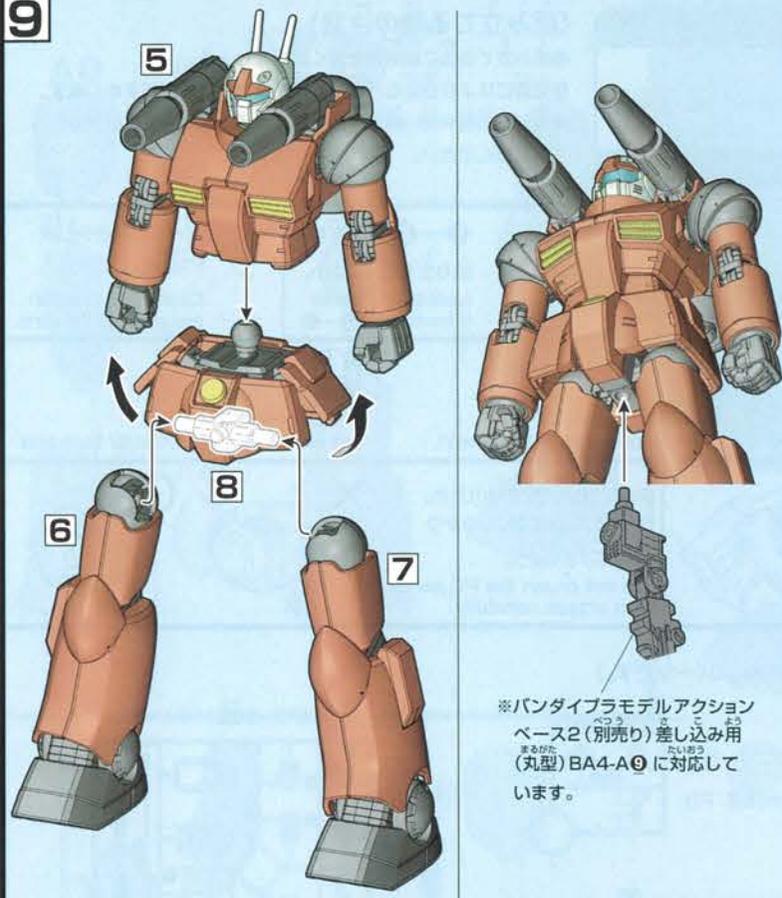
両肩に装備されたキャノン砲で本機の主兵装。砲身に強制水冷ジャケットを装備したことで、ザク・マシンガンに匹敵する発射速度を実現した。装弾数は左右合わせて40発とされる。なお、薬莖を用いず、液体火薬によって弾頭を発射する方式が採用されていたと言われる。

60mmバルカン砲

頭部の両側面に内蔵された実体弾兵装。格闘兵器を持たないガンキャノンにとっては、唯一の近接戦闘兵装でもあった。MSにはほとんど効果がなかったが、対空迎撃や牽制で威力を発揮した。

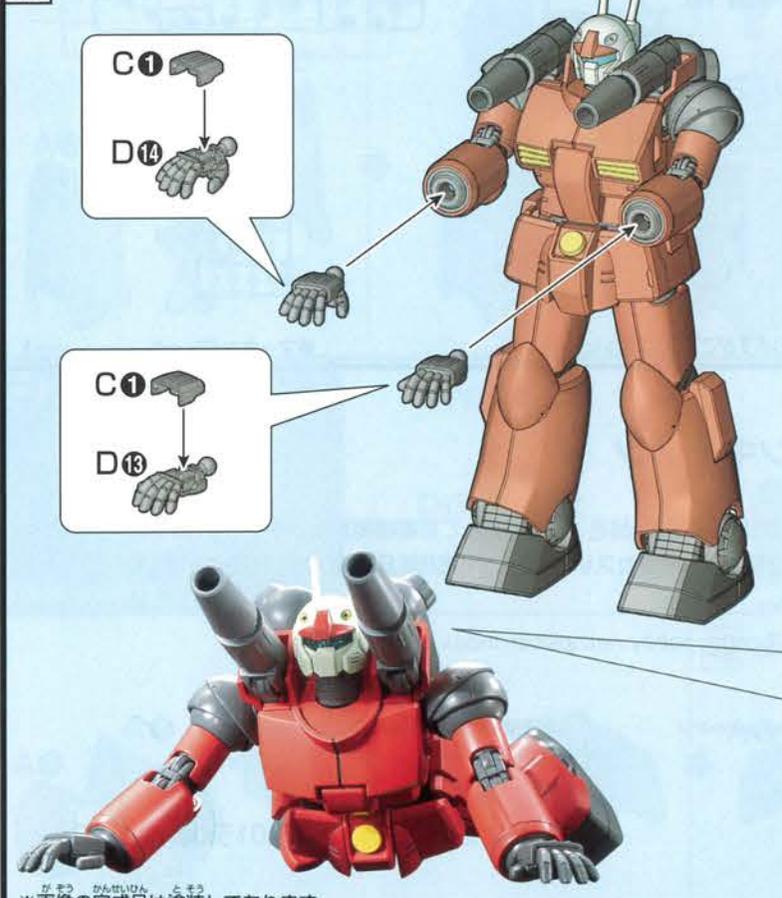


9



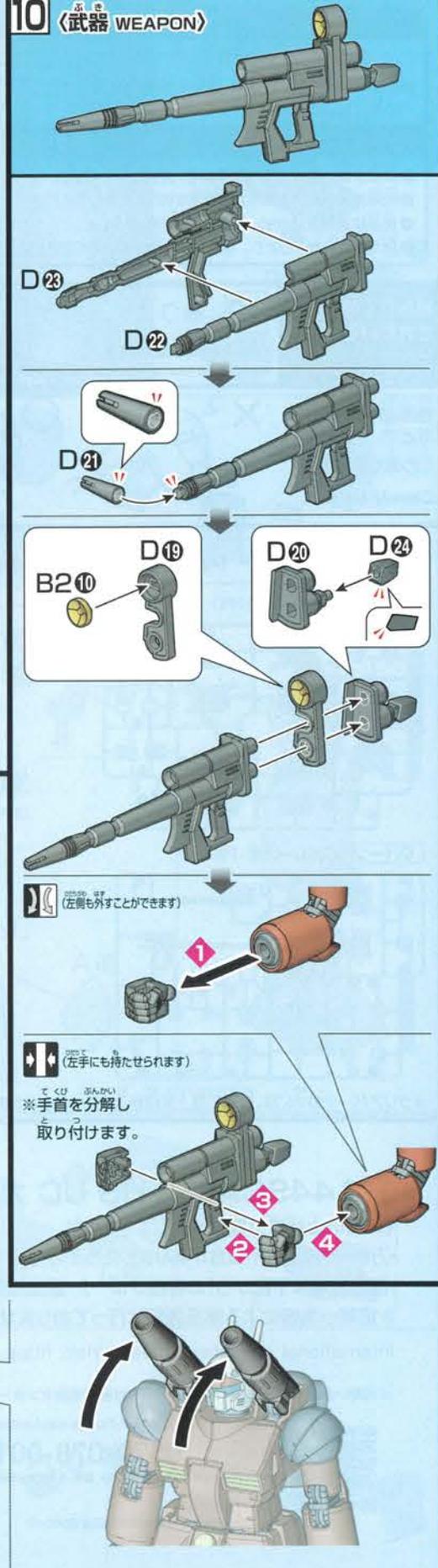
※バンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) 差し込み用 (丸型) BA4-A⑨ に対応しています。

11



※画像の完成品は塗装してあります。

10 (武器 WEAPON)



① (左側も外すことができます)

② (左手にも持たせられます)

※手首を分解し取り付けます。

※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) を使用しています。※データは劇中の設定です。